

◆ 平成27年度の敦賀港整備計画を紹介します ◆



敦賀港では、防波堤の延伸・補強をする工事をしています。今回は、現在施工中の防波堤工事の内容を、紹介します。

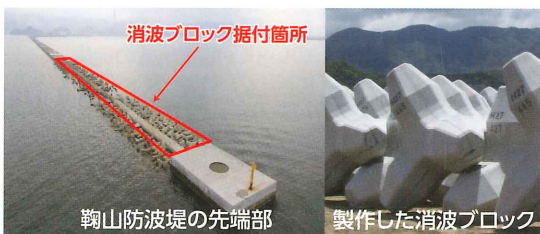


[2015年 夏号 Vol.41]



「港の元気は福井の元気」「地元の貨物は地元の港から」

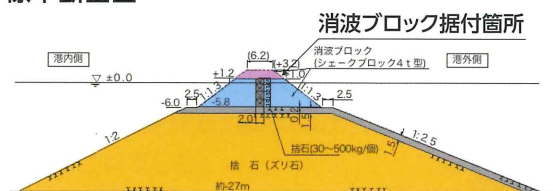
鞠山防波堤が1,330mまで伸びました!



敦賀港内への波浪を第1線で防ぐ鞠山防波堤の先端部が、平成26年度末までの工事で、計画延長の1,330mに達しました。

平成27年度は、4月から消波ブロックの製作に着手しており、製作完了後は防波堤先端部へ起重機船で+3.2mの高さまで据え付けます。本工事は、今年度中に完了する予定です

標準断面図



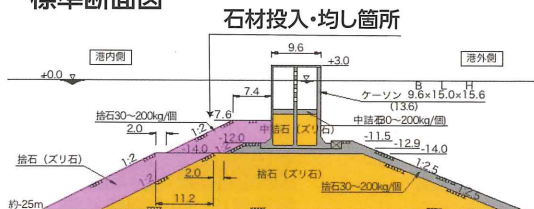
鞠山防波堤の基礎を補強しています!

鞠山防波堤は、平成24年4月に異常な高波浪によりケーソンが滑動する被害を受けたことから、平成26年度より防波堤港内側に基礎石を追加し、ケーソンの安定性を向上させるための補強工事を実施しています。

平成27年度は、365mを施工する予定で、工事の手順は次のとおりです。

- ①海中の濁りの拡散を抑えるために、汚濁防止膜を張るとともに、ガット船で搬入した石材を石運船に積み替えた後、船底を開き海中に落とします。
- ②投下した石材表面の凹凸が平らになるよう、潜水士による均し作業を行い、工事完了です。

標準断面図



石材の積み替え状況

目次

- 平成27年度敦賀港整備計画の紹介 **P1**
- 平成27年度福井港海岸整備計画の紹介 **P2**
- 港湾業務艇「まつかぜ」の体験航海を実施
- 平成27年度敦賀みなと振興会 定例総会開催 **P3**
- 敦賀港のクルーズ客船寄港予定
- 日本港湾協会技術賞受賞
- 平成27年度敦賀港整備促進期成同盟会 定例総会開催 **P4**

◆ 平成27年度の福井港海岸整備計画を紹介します ◆



**福井港
海岸**

福井港海岸は、その背後に福井県最大の工業団地「テクノポート福井」や「福井国家石油備蓄基地」が立地し、福井県における重要な産業及びエネルギー基地の拠点となっています。

福井港海岸では、日本海特有の冬季波浪により既設護岸前面での侵食が生じています。この侵食による波高増大や消波ブロックの飛散、越波による護岸背後の陥没被害などが多発しています。また、護岸背後の地盤は、地震時に液状化することが想定され、護岸が倒壊した場合は、広範囲にわたり甚大な被害を及ぼす恐れがあります。



越波状況



吸い出し・陥没被害の発生

このため、国民の生命・財産を守り、国土の保全を図ることを目的に、福井港の海岸事業では離岸堤築造工事と護岸の地盤改良工事を行っています。

波を抑える工事

離岸堤築造工事では、護岸の前面にアスファルトマットを敷設し、その上に消波ブロックを据え付ける構造としています。

これにより、高波浪を減衰させ、護岸前面の消波ブロックの飛散を減らし、越波を防止します。

本年度は、11月までに295mを施工する予定です。



アスファルトマット敷設状況



消波ブロック据付状況(水中より)

整備完了箇所では、波が離岸堤で砕け、護岸に到達する波が抑制されることで越波を防止しています。そのため、護岸背後の吸い出し・陥没等の被害は発生していません。また、護岸背後にある石油備蓄基地のフェンスも冬季波浪による被災は発生しておらず、整備効果が現れています。

海岸護岸を強くする工事

地盤改良工事では、護岸背後に特殊な薬液を低圧力で浸透注入することにより地盤を低強度固化させています。

これにより、埋立土砂の吸い出しが防止されるとともに、耐震性が強化されます。

本年度は、12月までに約377mを施工する予定です。



削孔状況



薬液注入状況



離岸堤(潜堤)の整備効果



体験航海に参加した親子



港湾の役割などを興味津々に聞く親子

◆ 港湾業務艇「まつかぜ」の体験航海を実施 ◆

平成27年5月10日(日)、敦賀港のきらめきみなと館と金ヶ崎緑地周辺において、「親子のフェスティバル」が開催されました。このイベントは、親子・仲間・地域・自然とのふれあい等を通じて青少年の健全育成を図ることを目的に、青少年健全育成敦賀市民会議が主催したもので、昭和58年の第1回開催から今回で33回目となり、当事務所としては5回目の参加協力となりました。

当日は、多少風が強かったものの天候に恵まれ、多くの家族連れが会場を訪れる中、当事務所では港湾業務艇「まつかぜ」による「敦賀港内一周体験航海」を午前10時から午後3時までの計5回運航し、約100名もの親子が乗船しました。

船内では、港湾施設の概要や取り扱う貨物などの説明を行い、乗船された皆さんは普段見ることのできない海からの眺めや港の役割に大変興味を示していました。

子供達からは「楽しかった」「また乗りたい」などの嬉しい声も聞くことができました。

港湾業務艇「まつかぜ」とは

平成6年に敦賀港に配備された最大速力23ノット、総トン数23トン、24人乗りの船舶です。通常時は、港湾工事の監督や港湾施設の点検などを行うために稼働しています。また、災害発生時には被害の状況確認や被災地支援などにも活用されます。



◆ 「平成27年度 敦賀みなと振興会」定例総会が開催されました ◆

平成27年5月25日(月)、クルーズ客船誘致を核に敦賀港と敦賀市内の賑わい創出を目指す「敦賀港みなと振興会」(平成25年3月29日設立)の総会が敦賀市役所で開催されました。

総会では、会長の淵上隆信敦賀市長が「行政、企業及び各振興団体が一体となって計画的、積極的な誘致活動に取り組んでいくと共に、市民のクルーズ意識の向上を図っていくことが非常に重要。乗船客やクルーがまた訪れたいと思って頂けるような港を目指していきたい。」と挨拶されました。

質疑応答では、クルーズ船の寄港を盛り上げていくと共に、港湾施設や観光地の受入れ環境等の整備を一つずつ具体化していくことが、大事な課題だという意見が挙がりました。



敦賀市長(会長)の挨拶



定例総会の様子

◆ 今年も敦賀港に クルーズ客船が寄港します ◆

● 8月2日(月)

10:00 夏の隠岐島・能登輪島クルーズ …… 入港
17:00 竿燈・ねぶた東北二大祭りクルーズ .. 出港

● 8月6日(木)

9:00 竿燈・ねぶた東北二大祭りクルーズ …… 入港

以上の2日、クルーズ客船「ぱしふいっくびいなす」が、敦賀港に寄港予定です。

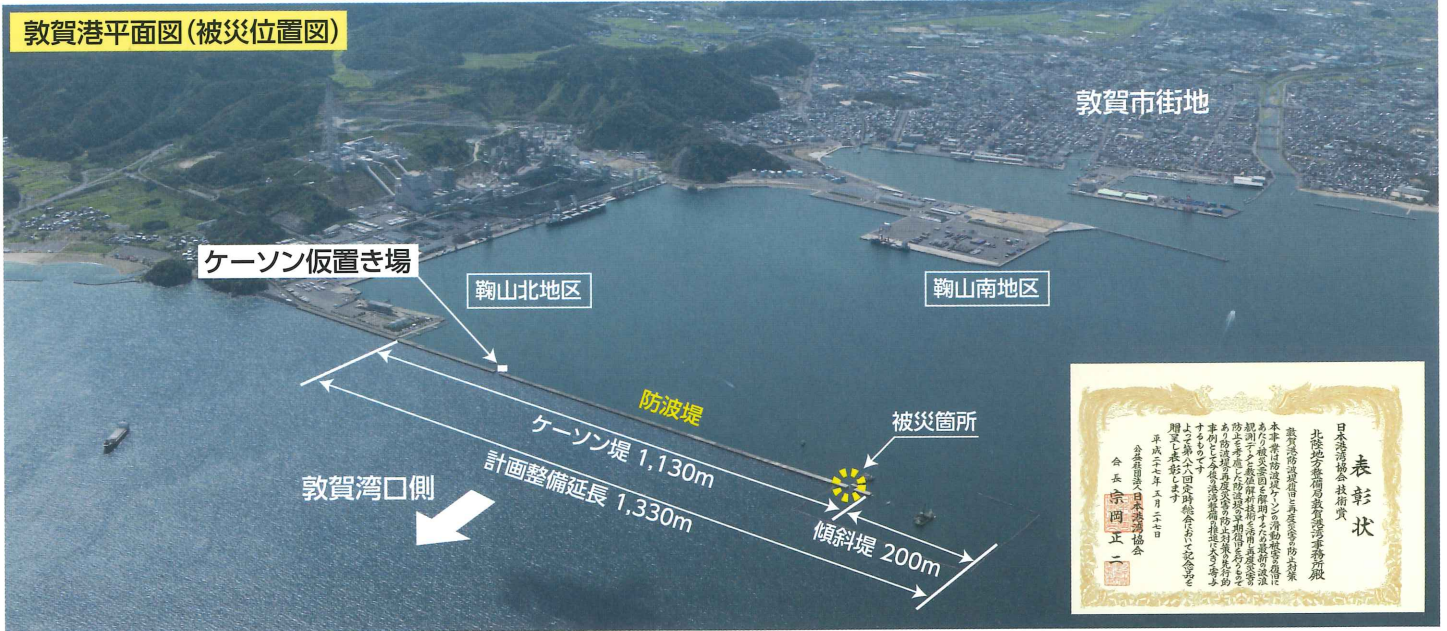


クルーズ客船入港の様子

「敦賀港防波堤復旧と再度災害防止対策」事業が

平成27年度日本港湾協会技術賞を受賞しました

敦賀港平面図(被災位置図)



敦賀港(鞠山北地区)防波堤の被災状況



敦賀港(鞠山北地区)防波堤の復旧完了状況



北陸地方整備局敦賀港湾事務所が施工した「敦賀港防波堤復旧と再度災害の防止対策」事業が日本港湾協会技術賞を受賞しました。

この事業は、平成24年4月に高波浪により発生した防波堤ケーソンの滑動被害の復旧にあたり、被災要因を解明するため最新の波浪データと数値解析技術を活用し、再度災害の防止を考慮した防波堤の早期復旧を行ったものです。

敦賀港は、北海道の苫小牧港との定期フェリー航路や定期RORO船航路及び韓国・中国との定期コンテナ航路を有し、重要な役割を担っています。

この敦賀港の第1線防波堤を早期に復旧させ、静穏度を確保し、安全な港湾活動に寄与したこと、また、防波堤の再度災害の防止対策の先行的事例として今後の港湾整備の推進に大きく寄与するものとして高く評価されたものです。

再度災害の防止対策につきましては、現在も防波堤補強工事を鋭意施工しているところです。無事故・無災害で完工させるよう職員一丸となって取り組んでおります。

「平成27年度 敦賀港整備促進期成同盟会」定例総会が開催されました



定例総会の様子



事業概要説明をする
当事務所長

平成27年5月25日(月)、敦賀港の整備促進と利用拡大を図る「平成27年度敦賀港整備促進期成同盟会」の総会が敦賀市役所で開催されました。

はじめに、副会長の渕上隆信敦賀市長が、「敦賀港の一層の利用拡大、貨物量増加に努め、関西・中京地方に近い地理的優位性を活かした国内外の物流拠点港にふさわしい整備を、関係機関にしっかりと要望していく。」と挨拶された後、平成26年度の事業報告、

平成27年度の事業計画が審議・承認されました。

総会に引き続き、平成27年度敦賀港事業計画説明会が行われ、当事務所の吉田忠所長、福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所吉田文一所長が今年度の事業概要を説明しました。

会員からは、敦賀港第2期工事への対応、松原海岸の侵食対策及び縄間地区離岸堤の事業の促進等について、ご意見・要望が出ました。

From
Editors

●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所
所長・副所長(事務)・総務課・品質管理課
工務課・企画調整課・保全課・沿岸防災対策室
〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2番43号
TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101
福井分室 副所長(技術)・総務課・工務課・海岸課
〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32
TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所ホームページ
<http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp/>
北陸地方整備局 港湾空港部ホームページ
<http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/>

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
大いに 良くなれ みなと
0120-497-370

※海やみなとに関するご意見、ご感想をお寄せください。